

母児同室について

当院では出産直後(帝王切開術も含む)から母児同室、母乳育児をおこなっています。 出産後はママと赤ちゃんが24時間同じ部屋で過ごします。

★母児同室のよいところ

ママと赤ちゃんの絆が深まる

出産後からママとずっと一緒にいることは、赤ちゃんにとっても幸せなことです。赤ちゃんはお乳が欲しい、オムツをかえてほしい、抱っこしてほしいと泣きます。泣いても赤ちゃんはすぐママの胸に抱いてもらえます。望んでいることを何でもしてくれるママはとても信頼できる存在です。出産後数日間のかかわりは、ママと赤ちゃんの信頼関係を築く上でとても重要な時期になります。



赤ちゃんとの生活のリズムができ、退院後の生活にスムーズに移行できる

ママも赤ちゃんと一緒にいることで赤ちゃんとの生活に慣れることができます。抱っこしたり、授乳したり、オムツを替えたりひとつひとつの育児を自分の手で行なっていくことで自信をもてるようになります。



母乳哺育の確立

厚生労働省だけでなく、ユニセフやWHO(世界保健機構)も母乳哺育を推奨しています。赤ちゃんが頻回に乳頭を吸うことが、母乳をつくるホルモンの分泌をよくします。



24時間ママと赤ちゃんが一緒にいて、赤ちゃんが欲しがるときに欲しがらだけ授乳することが、母乳哺育を成功させるために大変重要です。

母児同室中のことについて

授乳



24時間、いつでもあげてください。基本的に自律授乳(欲しがったときに欲しだけ飲ませる)をおこなっています。頻回に授乳していただき、医学的に必要でなければミルクは補足しません。出産後2、3日は母乳の準備期間で母乳の量は少ないです。ですがこの時期の母乳は初乳といって赤ちゃんに必要な成分をたくさん含んでいます。量が少ないと足りているか心配になりますが、赤ちゃんはお腹にいたときの蓄えと初乳で母乳の量が増えるのを待つことができます。頻回に授乳してたくさん初乳をあげてください。授乳の方法(抱き方、飲ませ方など)はその都度説明させていただきます。

沐浴

出産した日を0日として1、3・・・と奇数日に沐浴します。



ネオガード

ネオガードは赤ちゃんの呼吸状態を観察するモニターのことです。出生後数日の赤ちゃんは体の機能が不安定なため、ネオガードを使用し呼吸に異常がないか確認をしています。赤ちゃんが寝ているベッドの下にひいて、寝ている時の状態を観察します。

赤ちゃんのお預かり

ママが疲れているとき、シャワーや売店に行く時など赤ちゃんのそばを離れるときはお預かりしますのでスタッフまで声をおかけください。

赤ちゃんの診察

毎朝8時から体重測定をして小児科医の診察を受けます。ママが心配なこと、聞きたいことがある場合は診察時に赤ちゃんのそばで聞いていただけます。

赤ちゃんに治療が必要な時

母児同室中に赤ちゃんが強い黄疸や嘔吐などで治療が必要になった場合は、状態によって新生児センターでお預かりして治療を受けていただきます。

安全管理と感染予防

母児同室をしている病室は赤ちゃんの安全を守り、面会者からの感染を防ぐために、入り口を施錠しています。面会制限については下記を参照してください。



面会について

面会時間

面会時間については変更になる場合がありますので、病院のホームページでご確認下さい

面会制限

来訪者からの感染を防ぐため入室制限をしています。

1日1枚、問診票のご記入をお願いします。

以下の質問に1つでも当てはまる方は、面会をご遠慮いただいています。

- ・18歳未満の方
- ・過去48時間以内に発熱、咳、鼻水、下痢、嘔吐、咽頭痛等の風邪症状があった方
- ・2週間以内に、麻疹(はしか)、風疹(三日ばしか)、水痘(みずぼうそう)、流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)と診断された人と接触した方
- ・口の周りにヘルペス(熱のはな)ができている方
- ・現在、同居の家族内にコロナ、インフルエンザ、RSウイルス感染症、ロタウイルス感染症と診断された人がいる方

赤ちゃんの兄弟でも18歳未満は入室できません。

MFICU(母体胎児集中治療室)・陣痛室・分娩室

MFICU入口は、セキュリティーオートロックになっていますので、面会時は、問診票を記入後に扉横のインターホンで知らせていただき、スタッフに問診票をお渡しください。

4階東病棟

4階東病棟の入り口はオートロックではありません。問診票の記入をしていただき、ナースステーションのスタッフに問診票をお渡しください。